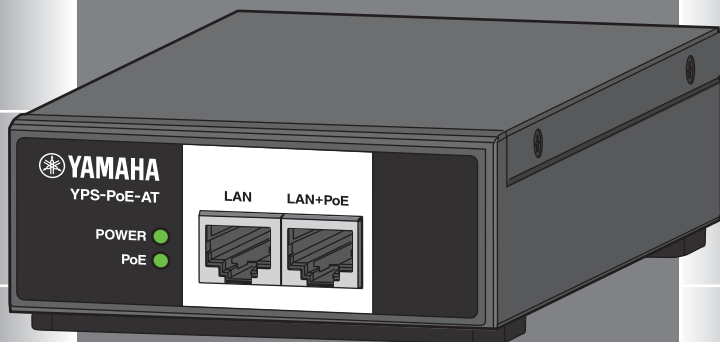


PoEインジェクター

YPS-PoE-AT



取扱説明書

ヤマハ製品をお買い上げいただきありがとうございます。
お使いになる前に本書をよくお読みになり、正しく設置
や設定を行なってください。本書中の警告や注意を必ず
守り、正しく安全にお使いください。本書はなくさないよう
に、大切に保管してください。



はじめに
お読みください

目次

□ はじめに

・はじめに	3
・安全上のご注意	4
・使用上のご注意	7
・重要なお知らせ	7

□ 本製品の概要

・各部の名称と機能	8
・設置する	10
・接続する	10

□ その他の情報

・主な仕様	12
・お客様サポートについて	13
・保証と修理について	14
・保証規定	15
・保証書	裏表紙

はじめに

本製品は、IEEE802.3at 規格に準拠した給電アダプターです。本製品を使用することで、IEEE802.3af 規格 または IEEE802.3at 規格に準拠した PoE 受電機能を搭載したネットワーク機器に、LAN ケーブルを介して給電できます。

■ 付属品をご確認ください

- 取扱説明書（本書、保証書を含む）：1 冊
- 電源コード (AC100 V 専用、アースコード付き)：1 本
- 電源コード抜け防止金具：1 個

■ 本書の表記について

□ 略称について

本書ではそれぞれの製品について、以下のように略称で記載しています。

- ヤマハ YPS-PoE-AT：本製品
- 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T/2.5GBASE-T ケーブル：
LAN ケーブル
- Power over Ethernet：PoE

□ 商標について

本書に記載されている会社名、製品名は各社の登録商標あるいは商標です。

- 本書の記載内容の一部または全部を無断で転載することを禁じます。
- この取扱説明書では、発行時点の最新仕様で説明をしております。取扱説明書の最新版につきましては、下記の Web サイトからダウンロードしてご覧いただけますよう、お願いいたします。
<http://www.rtpo.yamaha.co.jp/RT/manual.html>
- 本製品を使用した結果発生した情報の消失などの損失については、弊社では責任を負いかねます。保証は本製品の物損の範囲に限ります。あらかじめご了承ください。

安全上のご注意

本製品を安全にお使いいただくために、本書の「警告」と「注意」をよくお読みになり、必ず守ってお使いください。

本書に示した「警告」と「注意」は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる場所に必ず保管してください。

■ 「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。



警告

この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。





注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

■ 記号表示について



本書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「～しないでください」という禁止を示します。
	「実行してください」という強制を示します。

- ・本製品は一般オフィス向けの製品であり、人の生命や高額財産などを扱うような高度な信頼性を要求される分野に適応するようには設計されていません。
- ・本製品の使用方法や設定を誤って使用した結果発生したあらゆる損失について、弊社では一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。


警告

 必ず実行	<p>日本国内 AC100 V (50/60 Hz) の電源電圧で使用する場合は、必ず付属の電源コードを使用する。</p> <p>その他の電源コードを使用すると、火災や感電、故障の原因になります。</p>	 禁止	<p>本体のすき間から金属や紙片など異物を入れない。</p> <p>火災や感電、故障の原因になります。</p>
 必ず実行	<p>日本国内 AC200 V (50/60 Hz) の電源電圧で使用する場合は、必ず AC200 V 対応した電源コードを使用する。</p> <p>その他の電源コードを使用すると、火災や感電、故障の原因になります。</p>	 分解禁止	<p>分解・改造は絶対にしない。</p> <p>火災や感電、故障の原因になります。</p>
 禁止	<p>付属の電源コードを他の電気機器で使用しない。</p> <p>火災や感電、故障の原因になります。</p>	 禁止	<p>電源コードおよび LAN ケーブルを傷つけない。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 重いものを上に載せない • 加工をしない • ステーブルで止めない • 無理な力を加えない • 熱器具には近づけない <p>火災や感電、故障の原因になります。</p>
 必ず実行	<p>電源プラグは、見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。</p> <p>万一の場合、電源プラグを容易に引き抜くためです。</p>	 必ず実行	<p>各ポートの規格に適合したケーブルを接続する。</p> <p>本来とは異なるケーブルを接続すると、火災や故障の原因になります。</p>
 必ず実行	<p>電源プラグは、コンセントに根元まで、確実に差し込む。</p> <p>差し込みが不十分なまま使用すると感電したり、プラグにほこりが堆積したりして発熱や火災の原因になります。</p>	 禁止	<p>ポート内部を指や金属で触れない。</p> <p>感電や故障の原因になります。</p>
 必ず実行	<p>必ずアースコードを接続する。</p> <p>感電防止のためアース接続してください。アース接続は、必ず電源プラグを電源につなぐ前に行なってください。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行なってください。</p>	 禁止	<p>本製品を落下させたり、強い衝撃を与えたりしない。</p> <p>内部の部品が破損し、感電や火災、故障の原因となります。</p>
 必ず実行	<p>下記の場合には、すぐに電源プラグをコンセントから抜く。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 異常なおいや音がする • 煙が出る • 破損した • 水がかかった <p>そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。必ず販売店に修理や点検をご依頼ください。</p>	 禁止	<p>放熱を妨げない。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 布やテーブルクロスをかけない • 通気性の悪い狭い場所へは押し込まない <p>本製品の内部に熱がこもり、火災や故障の原因になります。</p>
 ぬれ手禁止	<p>ぬれた手で本製品を扱わない。</p> <p>感電や故障の原因になります。</p>	 禁止	<p>ほこりや湿気が多い場所、油煙や湯気があたる場所、腐蝕性ガスがかかる場所に設置しない。</p> <p>火災や感電、故障の原因になります。</p>
 ぬれ手禁止	<p>ぬれた手で本製品を扱わない。</p> <p>感電や故障の原因になります。</p>	 接触禁止	<p>雷が鳴りはじめたら、本体や電源コードには触れない。</p> <p>感電のおそれがあります。</p>

 必ず実行	<p>電源プラグのゴミやほこりは、定期的に取り除く。 ほこりがたまったまま使用続けると、火災の原因になります。</p>	 必ず実行	<p>長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。 火災や感電の原因になります。</p>
--	---	--	--

注意

 必ず実行	<p>移動をするときには電源を切り、すべての接続ケーブルを外す。 本製品や接続機器が落下や転倒して、けがの原因になります。</p>	 必ず実行	<p>IEEE802.3at 規格対応の PoE 受電機器を接続する場合、エンハンスドカテゴリ 5 (CAT5e) 以上の LAN ケーブルを使用する。 規格に適合したケーブルで接続しないと、火災や故障の原因になります。</p>
 禁止	<p>不安定な場所や振動する場所には設置しない。 本製品が落下や転倒して、けがや故障の原因になります。</p>	 禁止	<p>本製品を高所または天井面に取り付けられない。 落下によるけがや機器の破損の原因になります。</p>
 禁止	<p>直射日光のあたる場所や、温度が異常に高くなる場所（暖房機のそばなど）には設置しない。 故障の原因になります。</p>	 必ず実行	<p>本製品をマグネットで壁面に設置するときや、壁面から取り外すときは慎重に行なう。 強い磁力のマグネットが使用されているので、けがの原因になります。</p>
 禁止	<p>環境温度が急激に変化する場所では使用しない。 環境温度が急激に変化すると、本製品に結露が発生することがあります。そのまま使用すると故障の原因になるため、結露が発生したときは電源を入れない状態で乾くまでしばらく放置してください。</p>	 禁止	<p>本製品をマグネットで壁面に設置したあと、機器をずらさない。 被着面の塗装などに傷がつくおそれがあります。</p>
 禁止	<p>本製品を他の機器と重ねて置かない。 熱がこもり、故障の原因になります。</p>	 必ず実行	<p>本製品をマグネットで壁面に設置したとき、ケーブルは必ず壁面などに固定する。 ケーブルに手や足が引っかかり力が加わると、本製品が落下し、けがや機器破損の原因になります。</p>
 禁止	<p>電源を入れたままケーブル類を接続しない。 本製品および接続機器の故障の原因になります。</p>	 禁止	<p>本製品底面のマグネットをパソコンや時計などの磁気の影響を受けやすい機器に近づけない。 故障などの原因になります。</p>
 必ず実行	<p>本製品に触れるときは、人体や衣服から静電気を除去する。 静電気によって故障するおそれがあります。</p>	 禁止	<p>本製品底面のマグネットに各種磁気カード、磁気ディスクなどを近づけない。 記録内容が消去されるおそれがあります。</p>
 必ず実行	<p>本製品と PoE 受電機器との接続には、IEEE802.3at 規格の最大給電電圧 (57V) に対応した LAN ケーブルを使用する。 規格に適合したケーブルで接続しないと、火災や故障の原因になります。</p>	 必ず実行	<p>本製品の LAN+PoE ポートには、IEEE802.3af/at 規格に準拠した PoE 受電機器を接続する。 規格に準拠した機器を接続しないと、火災や故障の原因になります。</p>

使用上のご注意

■ 設置 / 接続について

- 本製品は磁界が強い場所に設置しないでください。
- 本製品の同一電源ライン上にノイズが発生する機器を接続しないでください。
- 本製品のご使用にあたり、周囲の環境によっては電話、ラジオ、テレビなどに雑音が入る場合があります。この場合は本製品の設置場所、向きを変えてみてください。
- 1000BASE-T/2.5GBASE-T でご使用になる場合は、エンハンスドカテゴリ 5(CAT5e) 以上の LAN ケーブルをご使用ください。

■ 譲渡 / 廃棄について

- 本製品を譲渡する際は、本書も合わせて譲渡してください。
- 本製品を廃棄する場合は、お住まいの自治体の指示に従ってください。

重要なお知らせ

電波障害自主規制について

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

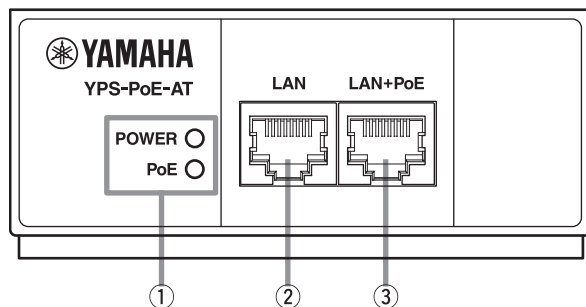
VCCI-A

高調波について

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品

各部の名称と機能

■ 前面



① インジケータ

本製品の動作状態を示します。

- **POWER** : 本製品の電源状態を示します。
点灯 : 動作中です。
消灯 : 電源が切れています。
- **PoE** : LAN+PoE ポートの給電状態などを示します。
点灯 : 給電しています。
点滅 : PoE 受電機器の異常状態や、ノイズを検出し、給電を停止しています。
消灯 : 給電していません。

② LAN ポート

スイッチやルーターなどのネットワーク機器と LAN ケーブルで接続します。

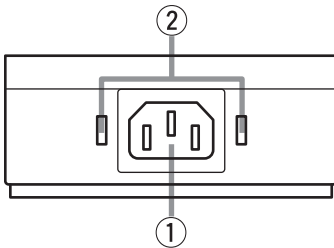
③ LAN+PoE ポート

無線 LAN アクセスポイントなどの PoE 受電機器と LAN ケーブルで接続します。

💡 ヒント

電源が切れた状態でも、LAN ポートと LAN+PoE ポートの間で通信は可能です。

■ 背面



① 電源インレット (3極コネクタ、C13タイプ)

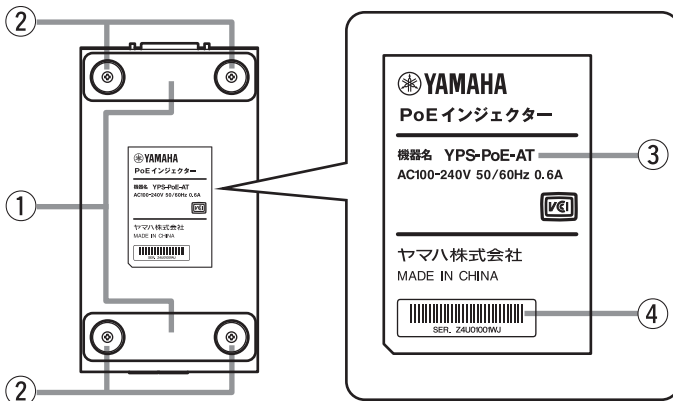
付属の電源コードを接続します。
AC200 V でご使用される場合は、お客様がご用意した AC200 V 対応コードを接続してください。

② 電源コード抜け防止金具取り付け穴

付属の電源コード抜け防止金具 (コの字型) を取り付けます。(→ 11 ページ)

付属の電源コード以外では使用しないでください。

■ 底面



① ゴム足

② マグネット

スチール製のデスクやパーティションなどに取り付けます。

③ 機器名

本製品の機器名が記載されています。

④ 製造番号

製品を管理 / 区分するための製造番号が記載されています。

設置する

ⓘ ご注意

本製品を設置するときは、「安全上のご注意」(→4～6ページ)および「使用上のご注意」(→7ページ)を必ず守ってください。

■ 水平置きで設置する

本製品をデスクなどの水平な場所に設置します。

■ マグネットで設置する

本製品底面のマグネットでスチール製のデスクやパーティションなどの壁面に設置することができます。

ⓘ ご注意

設置面の状態によっては、マグネットの十分な強度が得られない場合があります。

接続する

ⓘ ご注意

- 本製品を接続するときは、「安全上のご注意」(→4～6ページ)および「使用上のご注意」(→7ページ)を必ず守ってください。
- 電源プラグは最後に接続してください。
- 本製品にリピーター機能はありません。LANポートに接続するネットワーク機器から、給電対象のPoE受電機器までのケーブル長の合計が100mを超えないようにしてください。

- 1 本製品のLAN+PoEポートとPoE受電機器のLANポートを、LANケーブルで接続する。
- 2 本製品のLANポートとネットワーク機器のLANポートを、LANケーブルで接続する。

- 3 電源コードを電源インレットに接続する。
電源コードの不意の脱落を防止するために、付属の電源コード抜け防止金具を取り付けることをおすすめします。

⚠️ ご注意

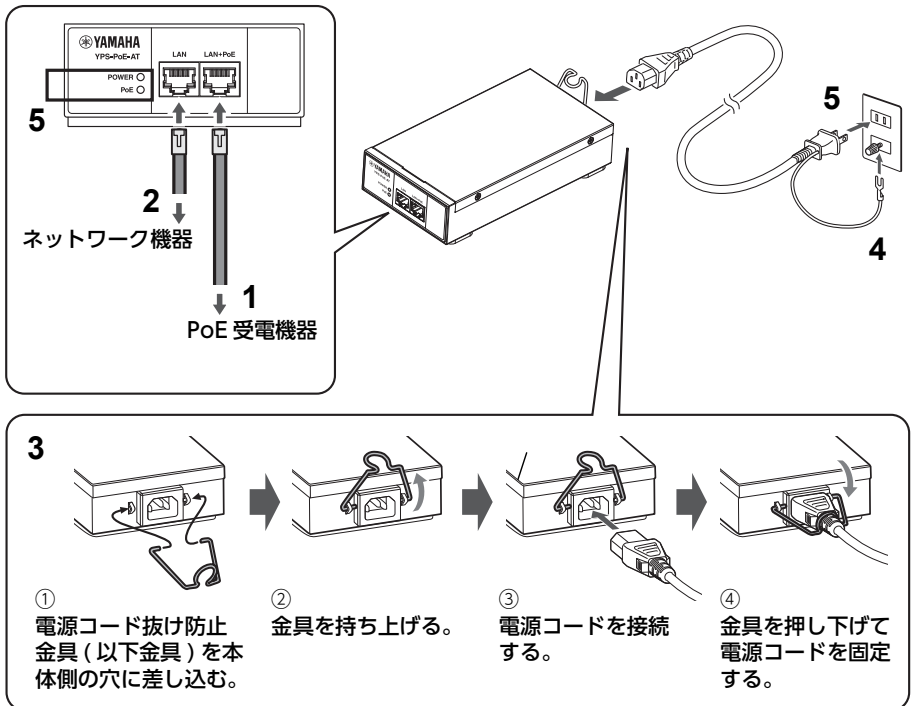
付属の電源コード抜け防止金具は、付属の電源コード専用です。付属の電源コード以外では、コードの破損や十分な固定ができない可能性があります。

- 4 アースコードをコンセントのアース端子へ接続する。

⚠️ ご注意

アースコードは必ずコンセントのアース端子に接続してください。ガス管などには、絶対に接続しないでください。

- 5 電源プラグをコンセント (AC100 V、50/60 Hz) に接続する。
本製品の POWER インジケータと PoE インジケータが点灯すれば正常です。



主な仕様

外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行き) :

96 mm × 42 mm × 180 mm (突起部含む)

質量 : 本体 0.6 kg (付属品含まず)

電源 : AC100 ~ 240 V、50/60 Hz

付属の電源コードを使用する場合は、日本国内 AC100 V のみ使用可能

消費電力 : 最大 34 W

動作環境条件 :

周囲温度 : 0 ~ 50 °C

周囲湿度 : 15 ~ 80 % (結露しないこと)

保管環境条件 :

周囲温度 : - 20 ~ 60 °C

周囲湿度 : 10 ~ 90 % (結露しないこと)

電波障害規格 : VCCI クラス A

PoE 規格 : IEEE802.3at

給電方式 : Alternative B

対応 PoE 受電機器 :

IEEE802.3af 規格または IEEE802.3at 規格に準拠した PoE 受電機器

LAN インターフェース :

イーサネット (RJ-45)

10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T/2.5GBASE-T

インジケータ : POWER、PoE

付属品 :

取扱説明書 (本書、保証書を含む) : 1 冊

電源コード (AC100 V 専用、アースコード付き) : 1 本

電源コード抜け防止金具 : 1 個

お客様サポートについて

■ サポートポリシー

ヤマハ株式会社は、お客様が本製品を快適にご利用いただけますように、また本製品の性能、機能を最大限に活用していただけますようにサポートをご提供いたします。詳しくは、サポートポリシーをご覧ください。

□ ヤマハネットワーク機器サポートポリシー

<https://network.yamaha.com/support/policy/>

■ お問い合わせの前に

□ 本書をもう一度ご確認ください

本書をよくお読みになり、問題が解決できるかご確認ください。

□ ログ情報や設定情報をご確認ください

お客様が使用されている本製品の状態を把握するために、弊社の担当者が周辺機器などのログ情報（Syslog）や設定情報（Config）を確認させていただくことがあります。問題の症状と合わせてお知らせいただくことで、問題の解決が早まる場合があります。

■ お問い合わせ窓口

本製品に関する技術的なご質問やお問い合わせは、下記へご連絡ください。

□ ヤマハルーターお客様ご相談センター

TEL : 03-5651-1330 FAX : 053-460-3489

ご相談受付時間

9:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00

（土・日・祝日、弊社定休日、年末年始は休業とさせていただきます）

お問い合わせページ

ヤマハネットワーク製品サポート

<https://network.yamaha.com/support/>

保証と修理について

■ 保証書について

保証書は本書の裏表紙に印刷されております。お買い上げ年月日・販売店などが確認できるレシートなどと一緒に保管してください。万一紛失なさいますと、保証期間中であっても有料となります。

■ 保証期間

保証書をご覧ください。

■ 保証期間中の修理

保証期間中に万一故障した場合には、お買い上げの販売店またはヤマハルーターお客様ご相談センターまでご連絡のうえ、製品をご送付ください。その際必ず保証書と、お買い上げ年月日・販売店などが確認できるレシートなども一緒に同封してください。

■ 保証期間後の修理

保証期間終了後の修理は有料となりますが、引き続き責任をもって対応させていただきます。お買い上げの販売店またはヤマハルーターお客様ご相談センターまでご連絡ください。ただし、修理対応期間は生産終了後5年間です。

保証規定

1. 保証期間内に正常な使用状態（取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態）で故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
 2. 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合は、本製品と本保証書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店にご依頼ください。
 3. ご贈答品、ご購入後の修理についてお買い上げ販売店にご依頼できない場合には、取扱説明書に記載されているヤマハサポート窓口にお問い合わせください。
 4. 保証期間内でも次の場合は有料となります。
 - (1). 本保証書のご提示がない場合。
 - (2). 本保証書もしくはお買い上げを証明する書類（レシートなど）に、お買い上げの年月日、お客様、お買い上げの販売店の記入がない場合、および本保証書の字句を書き替えられた場合。
 - (3). 使用上の誤り、他の機器から受けた障害または不当な修理や改造による故障および損傷。
 - (4). お買い上げ後の移動、輸送、落下などによる故障および損傷。
 - (5). 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、鼠害、塩害、異常電圧などによる故障および損傷。
 - (6). お客様のご要望により出張修理を行なう場合の出張料金。
 5. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
 6. 本保証書は再発行致しませんので大切に保管してください。
- ※本保証書は本保証書に示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって本保証書によってお客様の法律上の権利を規制するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店、または取扱説明書に記載されておりますサポート窓口までお問い合わせください。
- ※お客様にご記入いただいた個人情報（保証書控え）は、保証期間内の無料修理対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

保証書

持込修理

このたびはヤマハ製品をお買い上げいただきましてありがとうございました。
本保証書は、本保証書の裏面に記載の保証規定により無料修理を行なうことをお約束するものです。お買い上げの日から下記期間中に故障が発生した場合は、本保証書をご提示のうえお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

品名	PoEインジェクター
品番	YPS-PoE-AT
製造番号	
お客様	ご住所 〒
	お名前
	電話 ()
販売店	店名/住所/電話
保証期間	お買い上げ日から3年間
お買い上げ日	年 月 日

※保証書は、「お買い上げ年月日」が確認できるレシートなどと一緒に大切に保管してください。

ヤマハ株式会社
〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10-1

ヤマハルーターお客様ご相談センター
TEL:03-5651-1330